

CSR報告書

2011



品質



経営マネジメント



社会



環境



編集方針

不二家は、2003年から毎年「環境報告書」を作成し、環境問題への取り組みや考え方をご報告してまいりました。そして、2008年から、より広く企業の社会的な活動を報告することが企業が果たすべきCSR(企業の社会的責任)であるという考えのもと、「CSR報告書」としてまとめております。

本報告書では不二家のCSR活動を「品質」「経営マネジメント」「社会」「環境」の4項目にまとめ、それぞれ具体的にどのような取り組みを行っているかのご報告をしています。

報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

尚、環境報告部分の環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動をしている製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のデータを収集・記載しています。

製造6工場のISO14001 認証取得年月と環境負荷データ集計対象範囲

	ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場								
		2003年 (4月~3月)	2004年 (4月~3月)	2005年 (4月~3月)	2006年 (4月~3月)	2007年 (4月~3月)	2008年 (4月~3月)	2009年 (4月~3月)	2010年 (4月~3月)	
菓子	秦野工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月	○	○	○	○	○	○	○	○
洋菓子	野木工場	2003年 4月	○	○	○	○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月	-	○	○	○	○	○	○	○
	泉佐野工場	2006年10月	-	-	-	○	○	○	○	○

報告対象期間

2010年4月～2011年3月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

発行年月

2011年9月

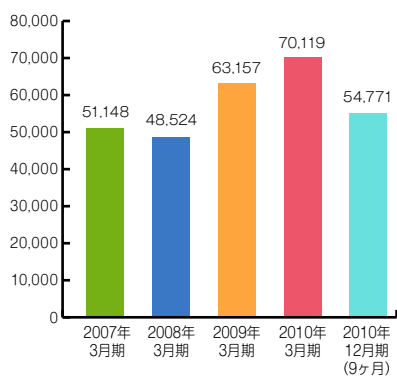
Contents

編集方針 P 2	企業理念 P 5
会社概要 P 3	不二家とステークホルダー／CSR推進方針 P 6
トップメッセージ P 4	創業100周年 P 7
		東日本大震災の被災状況とその取り組み P 9
品質			
安全・安心のために P11		
経営マネジメント			
コーポレートガバナンスと内部統制 P16	リスクマネジメント・セキュリティ P18
コンプライアンス P17		
社会			
お客様とともに P19	従業員とともに P22
株主・投資家の皆様とともに P21	不二家ファミリー文化研究所 P26
環境			
環境方針／環境マネジメント P28	環境保全活動 P30
事業活動のマテリアルバランス P29		
不二家のあゆみ P35		

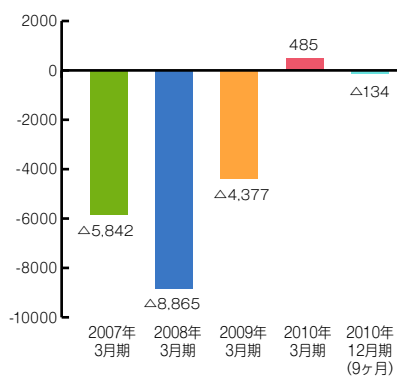
会社概要 (2010年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,005名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン株式会社、株式会社ユトリア不二家、B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社 日本食材株式会社、不二家サンヨー株式会社 不二家乳業株式会社、不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター 不二家テクノ株式会社
営業部・支店	東京、大阪、愛知、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	銀座、渋谷、横浜、名古屋、大阪、博多、札幌など全国の主要地
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

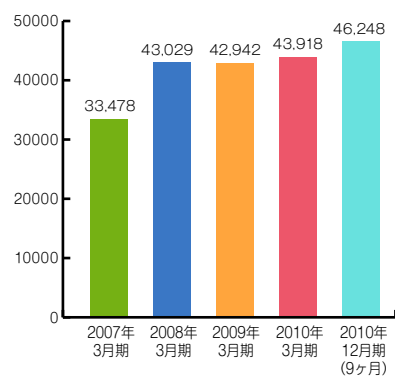
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



単体総資産(単位:百万円)



※決算期変更のため、2010年12月期は9ヶ月決算となります。

事業内容

洋菓子事業

ケーキ、ベーカリー、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営



菓子事業

チョコレート、キャンディ、焼菓子など菓子の製造販売



食品事業

飲料及び乳製品など食品の製造販売



※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。

不二家ホームページURL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

その他事業

業務内容：不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

トップメッセージ

101年目も、家族の笑顔のために

不二家は、本年創業101年を迎え、新たな1世紀への一步を踏み出しました。皆様方の温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

2011年、日本は東日本大震災という未曾有の大災害を経験しました。不二家としても、できる限りの支援をすることで、復興への貢献をしていきたいと考えています。募金や物資での支援ももちろんではありますが、本来の事業活動を通じ、お客様の笑顔やご家族の絆作りに貢献することも、具体的な復興への支援となります。今後は、その具体的な活動を維持し、継続していくことが重要だと考えております。

1910年の創業以来、不二家は常に「家族の幸せ」に貢献する企業であり続けたいと考え、お菓子を通じて家族の団欒の場を作るお手伝いをしてまいりました。

**すべてを、「おかあさんの気持ち」で
『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します**

これが不二家のミッションです。おかあさんが家族に向けるような「思いやり」「やさしさ」を持ち続けながら、企業活動を行うことが不二家の使命です。

今や、国民の人気キャラクターに育った「ペコちゃん」の笑顔に象徴されるような、家族の笑顔。そんな笑顔や、家族の絆作りに貢献したい、という思いは、101年目を迎えても変わりません。その思いを、従業員ひとりひとりが胸に抱き、弛まぬ努力を続けることが不二家のCSR活動そのものであると考えております。

不二家のCSR活動が目指しているのは、事業活動を通じて社会に貢献し、社会と当社が持続的に発展することです。企業市民として当然の責務である法令遵守はもちろんのこと、食品を扱う企業の一員として、「食の安全・安心」の確保についての取り組みを積極的に行いながら、事業活動を行ってまいります。また、次の世代に、この美しい地球環境を残し、つなげていくことも、不二家の果たすべき責任のひとつであると考えております。今後は、ますます重要になる持続的な地球環境作りについて、取り組みを強化・継続してまいります。

新しい価値を創造し続け、すべてのステークホルダーとの連携をとりながら、CSR活動へ取り組むことで、これからも世代を超えてお客様にご愛顧いただける企業となるべく、努めてまいります。

本報告書を通じて、不二家のCSR活動への取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

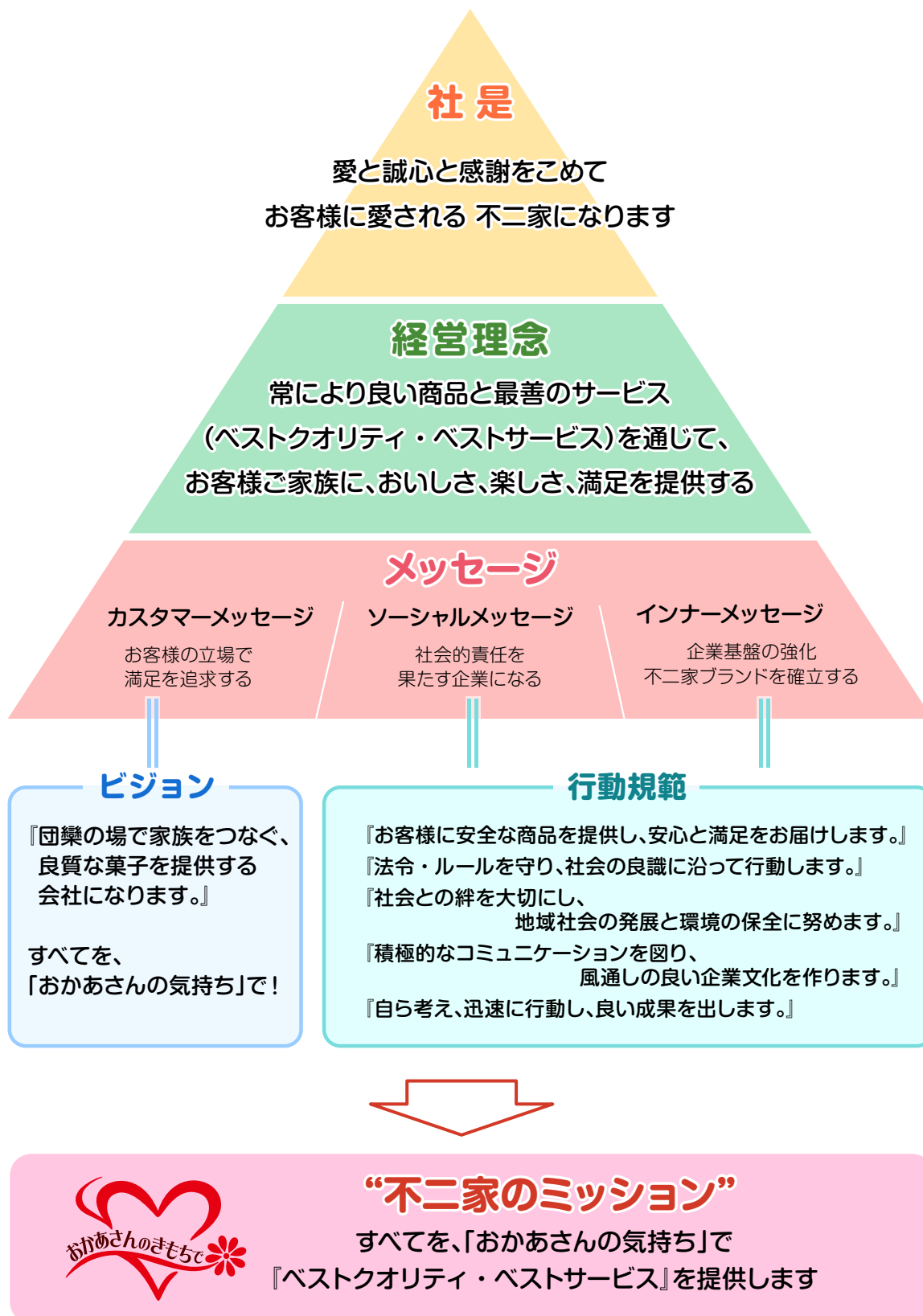
代表取締役社長

櫻井康文



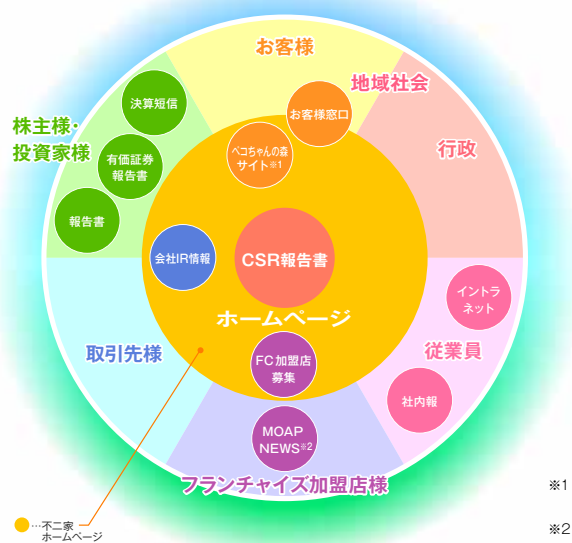
企業理念

不二家の企業理念や、未来に向けたビジョン、ミッションをご紹介します。



不二家とステークホルダー

不二家は企業活動を通じて関わる、社外・社内のさまざまなステークホルダーの皆様の期待に応え、信頼関係を構築するために、ホームページを中心とした各種ツールを活用し情報発信をしています。



※1 ベコちゃんの森サイト：不二家ファミリー文化研究所が運営するウェブサイト。詳細は、P26をご覧ください。

※2 MOAPNEWS：商品案内や販促計画のお知らせ。

お客様・地域社会

常により良い商品と最善のサービス、お客様との双方向のコミュニケーション、また、さまざまなご要望・ご指摘への速やかな対応を通じて、お客様との信頼関係の構築に努めます。

行政

適時・適正に情報を開示し、良好な関係を維持します。

株主様・投資家様

積極的な情報開示を行い、企業価値向上に努め、株主様の期待に応えていきます。

取引先様

公正で透明な取引を行い、情報の共有化を図るなど、ともに企業の発展を目指します。

フランチャイズ加盟店様

パートナーとしての信頼関係のもと、共存共栄を継続します。

従業員

従業員ひとりひとりが能力を発揮できる労働環境を整備し、人材を大切にします。

CSR 推進方針

不二家のCSR

不二家のCSRは、コンプライアンスはもちろんのこと、本業を通じてお客様に安全・安心な商品と最善のサービスを提供すること、適切な情報開示及び環境問題などへの取り組みを通じてステークホルダーの期待に応えていくことだと考えています。

不二家は、CSR活動を推進し企業価値を高めていくために掲げた、「品質」「経営マネジメント」「社会」「環境」の4つの項目に積極的に取り組んでまいります。健全な経営を継続することで企業価値向上を目指し、社会から信頼される良識ある企業として責任を果たしてまいります。

● CSR推進体制

CSR活動を強力にサポートするために、社長直轄組織である「CSR推進部」を設置し、この中に「コンプライアンス室」「広報室」「不二家ファミリー文化研究所」を配置、関連部門と連携しながら活動を推進しています。「コンプライアンス室」は、従業員が高い倫理観を持ち、社会の要請に柔軟に応じていく風土を醸成するために、継続的にコンプライアンス教育を行っています。「広報室」は、迅速で公正・公平な情報開示を通じて経営の透明性を高め、社内外に適切な情報を提供しています。「不二家ファミリー文化研究所」では、お客様とのふれあいの場を持つための各種イベント(コミュニケーション)や、食育・環境への取り組みを行っています。

創業100周年記念事業

2010年、不二家はおかげさまで創業100周年とペコちゃん生誕60周年を迎えました。不二家を支えてくださった全ての皆様へ感謝の気持ちを込めて実施した100周年事業の一部をご紹介します。

「ペコちゃんスマイルコンテスト」 2010年5月～8月開催

笑顔の時間を提供し続け、幸せを広げていきたいという思いを込めて、「幸せひろがる笑顔のチカラ」をテーマに、皆様の「スマイル」を募集しました(2010年5月応募受付開始)。リアルペコちゃん・ポコちゃんを決定するペコちゃん部門、ポコちゃん部門では、2,000名を超えるお子様からご応募をいただき、面接やWEBサイトでの審査投票を経て、最終審査に18名が残りました。また、「家族の笑顔の写真」を募集したファミリーフォト部門でも、2,000件を超えるご応募をいただき、審査を経て受賞作品を決定しました。

8月24日に池袋のサンシャインシティで開催した最終審査&授賞式では、ペコちゃん部門、ポコちゃん部門の最終候補者が、審査員と大勢の報道陣を含む何百人という観客の前で、堂々と特技やペコちゃんダンスを披露し、自己アピールを行いました。また、同日ファミリーフォト部門最優秀賞の授賞式も行いました。



グランプリ

ペコちゃん部門



高橋 ジュリアちゃん

ポコちゃん部門



菅 俊輔くん

ファミリーフォト部門



「みんな笑って・笑って撮るよ!」
撮影者:吉村 昌康くん

「ハートフルコンサート2010」協賛 2010年8月15日

池袋の東京芸術劇場にて、創業100周年を記念して協賛した「ハートフルコンサート2010」(東京フィルハーモニー交響楽団主催)が開催されました。この催しは黒柳徹子さんをナビゲーターに「平和を願うコンサート」として毎年同日に開催され、幅広い世代から支持を受けています。今回は指揮者に久石譲さんをお迎えして、約2,000名のお客様にクラシック音楽や久石さんの作品をお楽しみいただきました。



総務人事本部 総務部
小野 由美子

開場前から大勢のお客様がお越しになり、開演を楽しみにされていた様子が伝わってきました。ご家族連れの方が多く、皆様笑顔でご来場されていました。迫力のある演奏と黒柳さんの和やかなトークで盛り上がり、100周年を記念するにふさわしい、素敵なコンサートとなりました。

「ペコちゃんの歌」 2010年8月30日発表

創業100周年を迎え、お子様を中心とした3世代にわたる家族の絆作りをお手伝いしたいという思いから、作曲、編曲を久石譲さん、作詞を久石さんの娘さんの麻衣さん、歌を森高千里さんに依頼し、「ペコちゃんの歌」を制作しました。不二家洋菓子店のBGMとして使用したほか、CD販売や音楽ダウンロード配信(有料)も行いました。※現在はダウンロード配信を終了しています。



「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」 2010年9月登場

頭をなでる、抱きしめる、握手するの3つの動きに応じて、「わたしペコちゃんよろしくね」、「みんな6時だよ」、「お友達が増えてうれしいな」など約90種類の言葉をおしゃべりする「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」を制作しました。全国主要都市にある不二家洋菓子店、レストランなど9店舗に常設しています。そのほかの全国の店舗にも2010年11月下旬より期間限定で順次登場しています。



「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」 2010年9月～10月実施

永年のご愛顧への感謝と、お子様の健やかな成長への願いを込め、ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」で、幼稚園や保育園など14都道府県の児童施設70ヶ所を訪問しました。訪問先では園児と一緒にクイズ大会をしたり、「ペコちゃんの歌」に合わせて一緒に踊ったりと楽しい時間を過ごしました。訪問の際、ミルクキーやペコちゃんジャンボぬいぐるみをプレゼントし、大変ご好評をいただきました。

また、キャラバン隊とは別に地域の皆様への感謝を込めて、不二家の店舗や工場近隣の約1,150施設にミルクキーとペコちゃんジャンボぬいぐるみをお届けしました。



ペコちゃん号



洋菓子事業本部 店舗開発部
栗田 正人

私は、保育士を目指す学生が通う専門学校と保育園の併設施設を訪問しました。ペコちゃんが登場すると、子供たちはもちろん、学生、先生の笑顔で会場が埋め尽くされ、世代を問わずペコちゃんは笑顔に貢献できる存在だと改めて感じた瞬間でした。これからも笑顔に貢献できる企業で働いていることを自覚し、自身を律することを忘れないようにしたいと思います。

「ペコちゃんワールド」 2010年11月1日発売

「ペコちゃんいっぱい」をテーマにした書籍、「ペコちゃんワールド」(税込み2,835円)を発売しました。さまざまなペコちゃん人形やミルクキーパッケージの変遷などを掲載しています。不二家ネットショップ「ファミリータウン」にて数量限定で販売中です。

不二家ネットショップファミリータウン URL : <http://www.family-town.jp/>



「銀座ペコちゃんミュージアム」 2010年11月1日～21日開催

幅広い年代に愛され続ける「ペコちゃん」の世界を共有していただける空間として、「銀座ペコちゃんミュージアム」を不二家銀座ビルで開催し、総来場者数はのべ2万人を超えました。オープニング初日はペコちゃんスマイルコンテストグランプリの高橋ジュリアちゃん、菅俊輔くんが1日館長を務め、イベントを盛り上げました。

歴代のペコちゃん人形やグッズ展示、「ペコちゃんの歌」のダンスイベント、ペコちゃんグッズや当ミュージアム限定ケーキの販売などを実施。またイベントの目玉として歌って踊れる「ペコちゃんロボット」も登場するなど、充実した内容でお客様をお迎えしました。



オープニングセレモニー



ペコちゃんロボット



東日本大震災に関するお知らせ

この度、東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、当社においても大きな被害を受けました。当社は被害回復に向けて全力で取り組むと同時に、被災地復興のため、さまざまな活動を行ってまいりました。

当時の状況や当社の取り組みについてご報告いたします。

1. 被害状況

<人的被害>

当社及び当社グループ会社の従業員及び家族に、人的な被害はありませんでした。

<生産現場の被害>

各工場では、地震により設備の一部が損傷する被害を受けました。また、停電により生産設備の稼働停止、取引先工場の被害による原料・包材などの納入停止により、一時商品の生産を停止せざるを得ない状況となりました。

計画停電の時間帯は、グループに合わせた人員計画、生産計画を立て、一部原料の仕入先変更や生産アイテムの絞込みを実施し、工場の稼働継続に努めました。



写真右:包装材料の不足により、印刷されていない内装に切り替えた「ルック(ア・ラ・モード)」

<営業現場の被害>

宮城県仙台市の仙台支店、岩手県盛岡市の盛岡支店では、地震による事務所内の散乱、ライフラインの不通などの被害を受け、震災直後にはガソリン不足のため、車による営業活動を一時停止いたしました。しかし、ライフラインの再開に伴い、徐々に営業を再開しております。

さらに、震災翌日の3月12日には、不二家洋菓子店70店舗が営業を休止いたしました。計画停電中は営業を継続すべく、蓄冷剤を各店舗に配付するなどの対応をいたしました。



三井アウトレットパーク仙台港
(FUJIYA PARLOR「Peko store」が出店)



仙台支店内倉庫の様子

2. 支援の取り組み

<物資の支援>

当社では国の方針に従い、農林水産省を通して、24本ペコウェアースチョコレート6,000袋、22枚ホームパイ(ハニートースト)12,000袋を無償で提供いたしました。その他各自治体、団体などの要請に対応し、ハートチョコレート、ポップキャンディ、ネクターなどの各種商品を提供し、物資支援をいたしました。

<店頭チャリティー募金>

不二家洋菓子店・レストランにおいて、「日本を元気に!ペコちゃんと応援!」募金を実施し、期間中対象商品を1個お買い上げいただくごとに、当社より100円を寄付する取り組みをいたしました。また、一部洋菓子店舗において「ヤマザキ『ラブ・ローフ』募金」募金箱を設置し、義援金募金活動を実施いたしました。

集まった募金は、2011年6月9日に「特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン」及び「公益財団法人国際開発救援財団」の両団体に贈呈いたしました。



<ペコちゃん被災地訪問>

4月～5月にかけて、ペコちゃんと当社社員がキャラバンカーに乗り、福島県・宮城県・岩手県の被災地を訪問しました。小学校や避難所、不二家洋菓子店舗などを訪れ、キャンディのつかみ取りやペコちゃんとの記念撮影、ジャンケン大会やクイズ大会などのイベントを実施し、被災地域の方々に笑顔をお届けしました。

日時	訪問場所
4月22日～23日	福島県内4店舗、市内小学校1箇所
4月28日～29日	福島県内5店舗
5月16日～19日	宮城県内5店舗、保育園1箇所、避難所3箇所



約300人の児童とのじゃんけん大会



ショッピングセンター店頭でのイベント



洋菓子店舗での記念撮影



キャラバンカーに乗ってペコちゃん登場



避難所に笑顔をお届け



避難所での子どもたちとのふれあい

<節電対策>

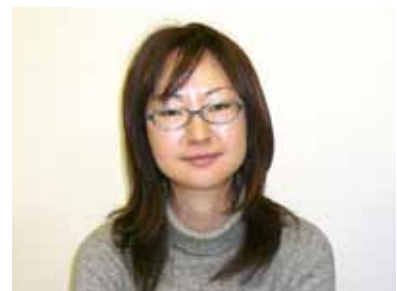
政府の「節電実行基本方針」に基づき、当社でもさまざまな節電対策を実施しています。工場では製造ラインの集約、省エネルギー照明(LED)や発電機の導入、定休日の変更などを実施。店舗では、お客様の安全性の妨げにならない範囲で、店頭看板や店内ライトの一部を消灯しています。また、本社においては、昼食休憩時の消灯、エレベーターの間引き運転など、節電対策をしています。

VOICE

ボランティア参加者

仙台は学生時代を過ごした第二の故郷でもあり、一日でも早く震災前の街に戻ってほしい、そのためには募金という形だけでなく、直接復旧作業に携わることが大事だと思い参加しました。ボランティアセンターを介して、津波被害にあったお宅の泥出しや、家具の搬出、まだ使える家具やおもちゃの洗浄などを行いました。実際に参加をして、一人でも多くの作業する人の手が必要だと実感しましたので、これからも継続して参加していくことが大事だと感じました。

食品安全衛生管理本部 食品安全管理部 食品安全管理課 増田 純子





品質

P11 安全・安心のために



お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全・安心な品質のうえに成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。

安全・安心のために

● 品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めています。

第一に、科学的根拠に立脚したAIBやISO9001といった食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

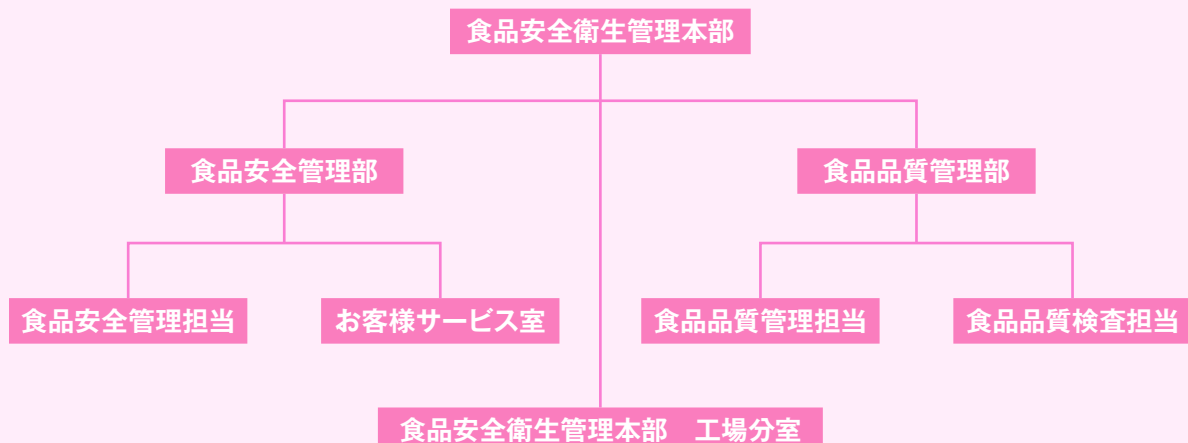
食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」と「食品品質管理部」の2部門に編成し、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



食品衛生教育の様子

食品安全衛生管理本部組織図

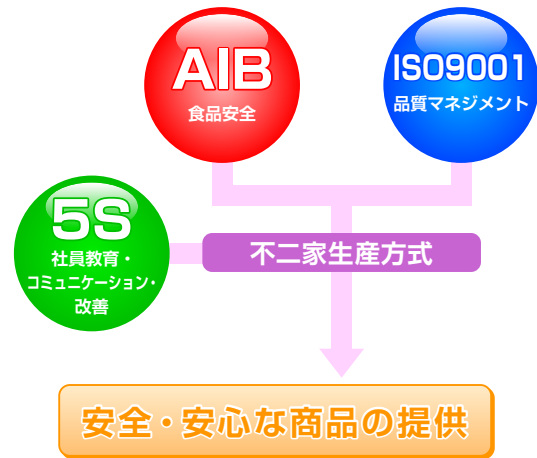


● 食品安全のための独自の生産システム

不二家では食品安全を担保するために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②お客様満足の向上と製品・サービスの品質の維持・向上のための品質マネジメントシステムである「ISO9001:2008」の運用
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、1つの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、食品安全の維持・向上に努めています。



● 不二家におけるAIB(American Institute of Baking)フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子5工場、菓子3工場の全ての工場でAIBフードセーフティへの取り組みを始めました。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」は、原材料の入荷から製品の出荷まで安全性を確保するために下記の5つのカテゴリーで構成されています。

- ①作業方法と従業員規範
製品が、従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐための方法を示しています。
- ②食品安全のためのメンテナンス
施設や設備が衛生上、及び食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。
- ③清掃活動
製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。
- ④総合的有害生物管理
有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理方策を示しています。
- ⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性
前提条件プログラムを、施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリーで詳細に守る事項が決められており、合わせると約100項目になります。AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価します。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリーが各200点の配点を持ち、総合評価として1000点満点で評価されます。



AIB自主監査の様子

不二家では、この外部専門機関でのAIB監査を実施し、全ての工場で合格点をいただきました。導入後も「AIB国際検査統合基準」に則って、各工場では工場各部門の代表者で構成される自主検査チームを結成し、月1回、全ての製造設備に対して「AIB国際検査統合基準」に適合しているかの確認のため自主検査を実施しています。不適当な箇所を抽出し、必要な改善措置を計画的に行っています。改善措置については、月1回実施している「食品安全衛生委員会」で、改善進捗報告を行い、常にシステムの維持向上に努めています。

今後もお客様へ安全・安心な商品をお届けするよう、AIBフードセーフティを継続的に取り組んでいきます。

● ISO9001 : 2008

不二家は、2005年よりISO9001*1品質マネジメントシステムを導入し、2006年6月に外部審査機関による審査で認証を取得しました。現在も、常に安全・安心な製品をお客様にお届けするため、品質方針*2・目標を掲げ、その遵守または達成に向けて、内部監査(年2回)や製造現場を中心とした各職場での日々の問題発見と改善活動を継続しています。また、品質マネジメントシステムに関する活動の情報交換の場として、社長・各部門長出席のもとQMS会議*3を毎月開催しています。今後も、食の安全・安心とお客様満足の向上のため、継続的な改善活動を行っていきます。



QMS会議の様子

※1 ISO9001適用範囲(2011年8月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、菓子施設部、購買部
【営業第一部(営業支店)、営業第二部、食品品質検査担当、食品安全衛生管理本部洋菓子工場分室は除く】

※2 品質方針

社長によって表明される不二家としての品質に関わる全般的な方向付け

不二家 品質方針(2007年3月7日付)は以下の5項目からなる

- (1) 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) その為に、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
- (3) 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
- (4) 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
- (5) それらの実現の為に、風通しのよい企業風土作りに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備及び教育を実施してまいります。

※3 QMS(Quality Management System) 会議

品質管理責任者が、品質マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックするために、毎月1回及び必要に応じて開催する会議



平塚工場 原料加工課 課長
金田 義隆

「どんな時代であっても仕事の基本は変わらない」「私たちは『安全・安心・信頼』をお客様にお届けしていることを忘れてはならない」「何事でもそうですが、同じ仕事を繰り返すとマンネリ化に陥りやすい」これらの言葉を胸に、自らが継続的に衛生管理と労働安全を徹底強化することを心がけ、安定生産につなげています。ISOの導入による最大の収穫は、「品質」に対する全従業員の意識改革が図られ、それが経営にも寄与していることだと思います。これからも、食品安全管理体制を強化・徹底して、安全で安心なお菓子を消費者の方へ提供できるように努力します。

●「本物の5S」について

昨年度より秦野工場・富士裾野工場でも活動を開始。現在不二家全工場で5S活動に取り組んでいます。

活動の1年目は、やりがいや生きがいを持てる職場作りを目的に、「全従業員の知恵と工夫による快善*努力から、3K(キケン・キツイ・キタナイ)・3M(ムリ・ムラ・ムダ)の排除」を実践します。

活動の2年目からは「変化に強い生産現場の体質作り」を目的に、快善を定着させるとともに、管理者と現場リーダーが中心となって不二家工場独自の生産方式を構築。流れる生産ライン作りに取り組み、進化するモノ作りの実現に力を注いでいます。

3年目を迎えた埼玉工場・野木工場では定期的に行っている工場巡回の際に、工場単体では解決できない、例えば組織に関する問題などについても、本社の関連部署を交えグループディスカッションを行い、全社横断的に問題の解決に取り組んでいます。

新入社員はもとより、工場で働くメンバーが変わっていく状況の中で活動を継続していくために、工場では5Sに関する勉強会を随時実施。また半年に1度、各工場にて活動の発表会を行っています。成果を定量的に把握して達成感を感じ、さらなる活動への意欲を持たせると同時に、他工場あるいは他チームの活動内容を見聞することで、快善活動の水平展開を図っています。

※快善……従業員が生きがいや、やりがいを持って仕事ができるようにすることから、この文字を使用しています。



活動発表会の様子



グループディスカッションの様子



富士裾野工場 総務・人事課
田中 康紀

5S活動を通じて職場環境がより良くなってきています。以前までは、現場の特に若手やパートナー社員の方々は自分の意見をなかなか言い出しにくい状況だったと思います。しかし、「全員参加」が大前提の5S活動によって、推進委員や各チームリーダーが積極的に意見を聞き取っている姿勢が見受けられます。これからも裾野工場の皆が一丸となって「働きやすい職場」「見える化の職場」へと、さらに快善されるようにサポートしていきます。

VOICE

5S活動を通して最も変わったことは、人と人との絆が深まったことです。話し合いの中では、意見の食い違いで口論になることもあります。しかし問題点を一緒に考え快善できた時はとても嬉しいです。人と人が協力して何かをやり遂げることに意味があると思います。今後も、自分1人の意見で活動を進めるのではなく、職場の意見を取り入れた全員参加の5S活動を進め、「何でも言い合える、働きやすい職場」を作っていきたいと考えています。

秦野工場 チョコレート製造課 組長 松永 陽平



野木工場 生産管理 課長
中村 智哉

3年が経ち、また自分自身も埼玉工場から野木工場へ異動したため働く環境は変わりましたが、事務局として活動を形骸化させないために各チームのフォローに努めました。月に1度、現場パトロールを行い、快善ポイントを見つけています。また、多くの従業員の目につく食堂に、活動記録の掲示をしています。従業員の安全確保のために、自ら通路や作業動線の確保をしたりと、自分自身が進んで快善活動に取り組んでいます。快善活動に終わりはありません。工場がある限り、日々全員参加で活動に取り組む雰囲気作りに努めていきます。

●「不二家食品安全の日」について

2007年1月、不二家は、社会並びに消費者の方々に多大なご迷惑をおかけし、食に対する不安を与えてしまいました。

不二家は一連の問題を風化させず、恒常的に「食の安全・安心」に取り組んでいくために、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定め、毎年1月に本社及び各事業所にて、式典や集会を行っています。4回目を迎えた2011年の「不二家食品安全の日」の式典は1月11日(火)に、不二家本社にて開催されました。

式典では会長の山田憲典、社長の櫻井康文の講話に加え、新たな100年に向けて常に安全・安心な商品をお客様に提供していくための「食品安全衛生管理本部の業務方針」が食品安全衛生管理本部長から示されました。

今年で2007年に起きた「一連の問題」から4年の年月が過ぎました。この4年間に不二家には新しい社員やパートナー社員も加わっています。そのため今年は、この事件を風化させないために、「一連の問題」が起きた時に、自らが何を感じ、何を考えていたのかについて「後輩達に語り継ぐべき体験談」として全従業員が書き、一部を冊子にまとめました。その中から5名が「不二家食品安全の日」に発表を行いました。各自が出席者の前でその時のつらい気持ちや、もう二度と起こしてはいけないという決意を語りました。



食品安全衛生管理本部長 業務方針説明

会長山田の講話内容

お客様のニーズに応えることも重要だが、まずは不二家という食品メーカーにとって、食品の安全・安心ができていなくてはならない。「『不二家食品安全の日』を何のためにやるのか。お客様のためにはもちろん、不二家の持続発展のためでもあり、社会の役に立つ企業になるためである!」と各々が認識し、高い志を持って仕事に携わることが重要。4年前のことを風化させてはいけない。「不二家は会社としてどうあるべきか」ということを、各々真剣に考える日としてほしい。

社長櫻井の講話内容

一連の問題を風化させることなく、語り継がなくてはならない。語り継ぐということは大変重要。どうすれば食品の安全衛生や労働安全が守れるか、それを自ら考え、自ら行動するのが本物の5S。「不二家食品安全の日」の意義を改めて各々が考え、食品安全衛生管理において、日本でトップの企業になるという高い志を持ちながら、食品安全について取り組んでほしい。

VOICE

忘れたいけれど、忘れてはいけないのが1月11日「不二家食品安全の日」であると思っています。「過去の一連の問題を風化させてはいけない」という意味合いもありますが、毎年入社される新入社員に、営業の現場ではどのようなことがあったのかと当時の出来事を伝えていかなければ、お得意先やお客様に「何も知らないで営業しているのか」とお叱りを受けてしまうかもしれません。当人の身に起きていないことを伝えていくのは非常に難しいことです。私は後輩達に「語り継ぐべき体験談」を折に触れて伝えていくことで、コンプライアンスを重視する理想の不二家に少しでも近づけばと思っています。



菓子事業本部 中部統括支店 中京支店 鷹野 敬司



不二家は、企業の社会性の観点から、コーポレートガバナンスとコンプライアンスの強化・充実を優先課題と位置付け取り組んでいます。

また、実効性のある業務執行とその監督体制を作り上げるとともに、従業員ひとりひとりのコンプライアンス意識向上を図りながら企業活動を行い、企業価値向上を目指しています。

コーポレートガバナンスと内部統制

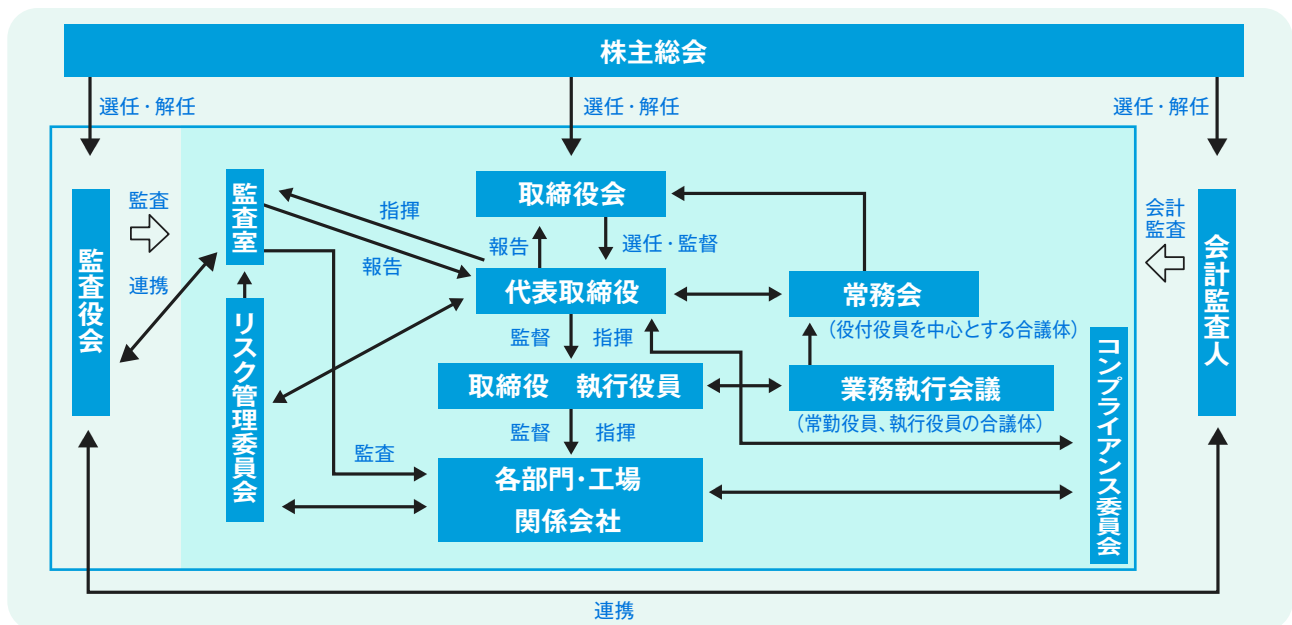
● コーポレートガバナンス

不二家は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性(コンプライアンス)・透明性(ディスクロージャー)の原則を守り、継続的に企業価値を向上させ、全てのステークホルダーから満足いただける魅力的な企業の実現を目指しています。

業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制を構築しています。

「取締役会」を経営意思の最高決定機関として位置付け、主要取締役による「常務会」と、取締役に加え執行役員も出席する「業務執行会議」を、毎月2回を基本に開催しています。これによりガバナンス強化とともに意思決定及び業務執行の迅速化を図っています。

また、関係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と関係会社社長との協議機関として、関係会社経営報告会(社長会)を設置し、関係会社への監督・支援を実行しています。



● 2010年度内部統制システムの整備・運用状況

当社は、企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定し、また随時見直しを図りながら、内部統制の整備・運用を行っています。

内部統制報告制度適用3年目となる2010年度は、2年目の内容をさらにレベルアップし、リスクの洗い出しを実施しました。また、決算期の変更があり、9ヶ月決算と通常より短い期間でありましたが、その中で自己点検や独立の評価を適正に実施し、内部統制の有効性に関する評価を行いました。

今後はあらゆるリスクを想定し、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定した上で、整備及び運用状況の評価を行うことで、内部統制の有効性を確保していきます。

そして財務報告の信頼性をさらに高め、企業としての社会的責任を果たしていきます。

コンプライアンス

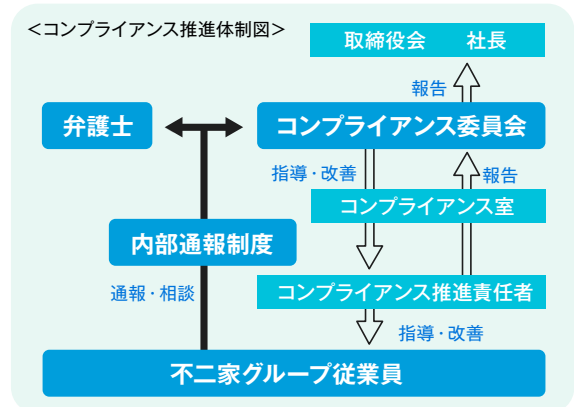
不二家はコンプライアンスをCSR活動の重要な基本部分と考えています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどまらず、社内規程(自分たちで決めたこと)を守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

● コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、管掌取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入するなど、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



● 内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令や行動規範に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員にコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、コンプライアンスの浸透にも努めています。

● 2010年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置付け、従業員のコンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2010年度は、従業員のコンプライアンス意識の向上と食品安全衛生のレベルアップを目的に、4月から7月にかけて、コンプライアンスビデオ研修や食品関連法の習得をまじえた教育を、合計51回行いました。

さらに、2007年1月に発生した「一連の問題」から4年が経過し、これ以降入社した従業員も年々増加していることから、2011年1月11日の「不二家食品安全の日」を機に、先輩従業員の貴重な経験を語り継いで、二度と起こさない強い意識につなげていく行動が必要であると考え、先輩従業員が綴った貴重な体験談を、「後輩達に語り継ぐべき体験談集」として編集し社員全員に配布しました。今後もコンプライアンス教育の教材として活用し、後世まで語り継いでいくことにしています。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。



秦野工場のコンプライアンス教育の様子



洋菓子事業本部 営業本部 トレーニングセンター課長
小野瀬 祐子

2007年の「一連の問題」以降、多くの店舗が新規開店していますが、フランチャイズ店・直営店を問わず、「一連の問題」を知らない、よく覚えていない多くの方が店長や従業員として不二家に加盟または採用されています。

そのような方々に、「コンプライアンス」や「食の安全」をいかに理解していただくかが大きな課題となっています。教育は相手が理解し、実践してもらって初めて「教えた」こととなりますので、たとえ学生アルバイトでも、意識を持って実践できるようなカリキュラムを作り、教育をすることが私たちの仕事です。

店舗では、単に「安全」な商品を提供すれば良いというものではなく、提供する従業員のサービスや店舗の環境が「安心」へとつながります。

お客様に信頼される店舗運営力をつけるために、今後も全員で教育のあり方に取り組んでまいります。

リスクマネジメント・セキュリティ

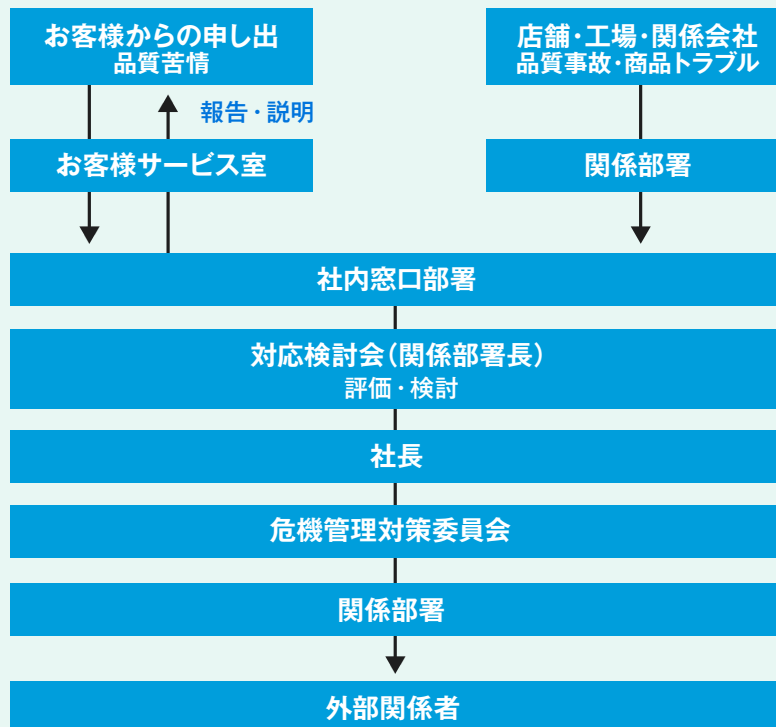
● リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全・安心」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境) リスク」などに対して、事前にリスクを識別・分類・分析・評価、及び、対応を適切に行うための「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

<危機管理体制図>



● 情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。



不二家は、社会に開かれた透明性の高い企業でありたいと考え、社外の方々からのご意見を積極的に取り入れながら、「企業市民としての社会貢献活動」「事業活動の情報開示」などを行っています。

また、従業員間のコミュニケーションを大切に、活気のある健全な職場の維持に努めています。

お客様とともに

● お客様への情報発信

不二家ホームページでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全・安心な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口

● お客様からいただいた声

2010年4月～2011年3月はお客様から約27,000件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、約20,000件がお問い合わせ・ご意見であり、約7,000件がご指摘事項でした。

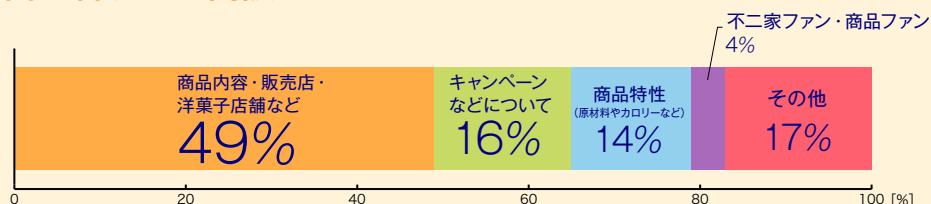
お問い合わせ・ご意見のうち、約14%が商品の原材料やカロリー、アレルギーなどについてであり、約49%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせに関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多い商品特性(カロリー・アレルギー情報)については、WEBサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。また、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を載せています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ホームページ上では専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

お問い合わせの内訳



● 親子工場見学の実施

不二家は工場見学を通じて、お客様に安全なお菓子を生産するための取り組みを紹介しています。

工場見学では、工場内の見学だけでなく、親子でケーキやお菓子作りを体験していただき、「食」についての興味や関心を高めていただくための取り組みも実施しています。

このような工場見学を通じて、より多くのお客様に不二家の安全・安心への取り組みをご理解いただくとともに、参加された皆様の大切な思い出作りのお手伝いをしています。

【「親子でケーキ教室」(吉野ヶ里工場)】

2010年5月15日(土) 吉野ヶ里工場にて「親子でケーキ教室」を実施しました。

この日は、12組29名の親子を招待し、ショートケーキの製造や工場見学、ビンゴゲームなど、親子でお楽しみいただけるさまざまなプログラムを行いました。

工場見学では、参加された方々から、5Sの取り組みについて質問を受ける場面もあり、工場内の衛生面についての関心が非常に高いことがうかがえました。



工場内を見学している様子



ケーキ作り教室の様子

● お客様とのコミュニケーション活動

【職場訪問の受け入れ】

不二家では、全国の中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れを行っています。

2010年は、年間で49件を受け入れ、不二家の概要説明や商品企画のプロセスなどの説明をはじめ、ペコちゃんの歴史や、商品にまつわるエピソードを、スライドを使用しながら説明しています。



スライド説明をする様子



学生からの質問に答える様子

株主・投資家の皆様とともに

● IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。

2008年11月にはホームページ「会社・IR情報」を大幅にリニューアル。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

IR情報

● ホームページ

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



● 報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。



● 株主優待制度

年1回の権利確定日*現在の株主様に対し3月中旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

*権利確定日…毎年12月31日。

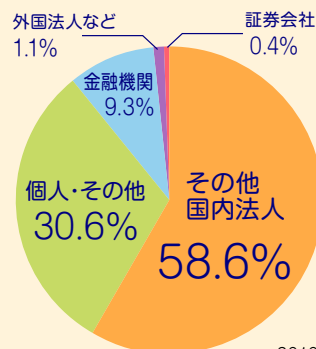


株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、不二家の洋菓子店・喫茶及び不二家レストランでご利用いただけます。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

所有者別株式数



2010年12月31日現在

● 株主様アンケート実施

不二家は、株主総会に出席された株主の皆様にはアンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。

従業員とともに

● 人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させる後押しのための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じることで、そして、この従業員の「幸せ」が、商品・サービスを通してお客様に提供する「幸せ」にもつながってくると考えています。

人材の即戦力化が求められる中、不二家では新人教育を重視し、入社からの5年間にOJTはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラム、集合研修や自己啓発などのフォローアップ研修を行っています。



● 社内公募制度

不二家は個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度を導入しています。

社内公募制度の意義は、社員主体による配置転換の自由度を高めることによって、人材流動化促進、スキルや意欲のミスマッチ解消、適材適所を実現し、社員が最も力を発揮できる環境を整えようとするものです。

不二家における社内公募制は、「社内求人型」です。会社が必要とするポストや職種の要件をあらかじめ社内に公開し、応募してきた社員の中から必要な人材を選抜する仕組みです。

この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が実際に異動しています。

● 不二家ビジネスカレッジ

不二家は、次世代を担うリーダーの育成を目的とするプログラムのひとつとして「不二家ビジネスカレッジ」を実施しました。

当プログラムは、「成果・結果＝能力×意欲×考え方」という考え方のもと、単なる知識の学習のみならず、組織人として成果・結果を出していくことのできる人材を育成し、将来の不二家のリーダーとなりうる人材の輩出を目指しています。

今後も、将来にわたる不二家の企業理念の実現を目指し、さまざまなプログラムに取り組んでいきます。



不二家ビジネスカレッジ発表会の様子

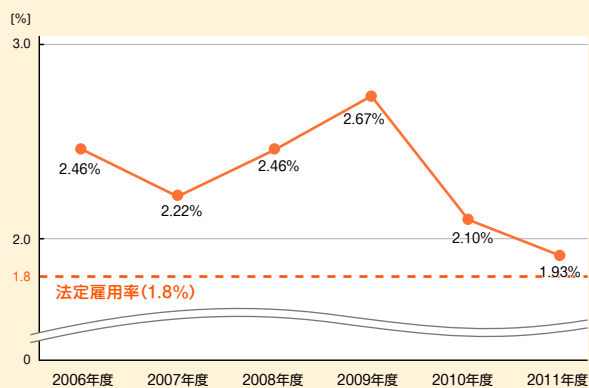
● 育児と介護を支援

不二家は育児や介護を行う従業員が、仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。不二家での2010年度育児休職者は9名でした。今後も制度利用を促進するために、さまざまな施策を講じていく方針です。

● 障がい者雇用

不二家は全国の工場や本部事務職を中心に、障がい者雇用率3%以上を目標として、雇用に取り組んでいます。2004年以降は法定雇用率(1.8%)を達成し、2011年3月末現在の障がい者雇用率は1.93%です。

障がい者雇用率表



障がい者雇用優良事業所表彰

不二家は、障がい者雇用の促進と職業安定に貢献したことが認められ、優良事業所として厚生労働大臣表彰を受けました。



● 高齢者雇用

社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、豊富な経験と技術を持っている社員の活用を目指しています。

満60歳に達する社員のうち、再雇用を希望し、会社が提示する職務に合致した人を対象として継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2011年3月15日現在122人の方々再雇用者として在籍しています。



総務人事本部 人事部 次長
北澤 正雄

高齢者雇用安定法の改正により、平成18年4月から事業主に厚生年金受給開始年齢までの雇用が義務付けられました。不二家では定年以降も継続して働く社員(再雇用社員)が毎年増加し、「技術技能の伝承」及び「人的資源の活用」が図られています。特に、技術の伝承では若年社員と接し、良き見本となることが、再雇用社員の「生きがい」になっているように感じています。高齢者の雇用はますます増加すると思いますので、高齢者でも安心して働きやすい環境作りを進めていきます。

●労働安全衛生

不二家は全てのお客様に、安全で安心な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、それぞれの事業所の全従業員が安心して働くことができる職場環境作りが不可欠だと考えます。

このために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全方針の策定や、安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と、全国の工場、営業所・支店、また、直営店舗(エリアごと)に「労働安全衛生委員会」を組織し、現場での問題解決や、緊急連絡網の整備、また、災害発生時における迅速な対応ができるよう取り組んでいます。

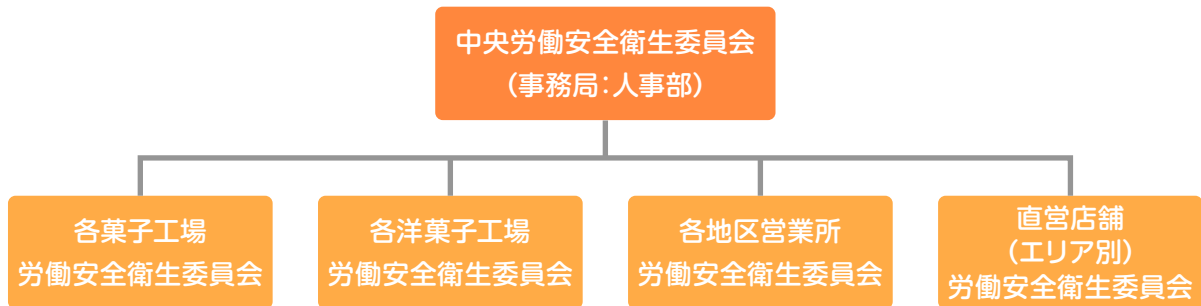
特に2010年7月に開催した「労働災害防止対策会議」において、労働安全に対し、経営トップから強い意志が示されました。中央労働安全衛生委員会メンバーを中心に全国の工場を巡回し、設備の改善などを進めた結果、労働災害の発生件数は減少してきています。

●不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、
社員の安全と健康の確保を第一とし、
働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートなど臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。

・2010年 不二家スローガン
「安全第一『愛』」で防ごう労働災害



埼玉工場 総務人事課 課長
山下 芳信

労働災害を起こしてはならないということは、働く者の念願ですが、それでもゼロにならないのが現状です。

私は安全衛生確保における社員の義務は「自分の安全は自分で守る、同僚・部下の安全を守る」ことだと考えています。私が勤務している埼玉工場でも、労働災害ゼロを目指し、「作業標準書」の作成と徹底、安全教育の実施、職場巡回等を行い、「安全で働きやすい職場」の構築に努めています。

●労使協力関係

不二家は、管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。

労使間では、健全な企業経営と企業の永続的な発展を目指し、以前より実施している「労使協議会」「経営協議会」に加え、「労使懇談会」(2009年6月より開催)を開催し、経営トップと組合幹部とが諸問題について忌憚のない意見交換を行う場を設けました。

これにより、経営上の課題の改善や、人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。

● 社内情報の共有

不二家は、横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!」は、社内イントラネットに掲載し、社内情報の発信を行っています。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週掲載しています。新商品情報や、新店舗開店情報、工場やエリアごとの取り組みなど不二家グループ内のさまざまな情報を紹介し続け、掲載開始より、187号(平成23年7月現在)を発行するに至っています。

年3回発行している冊子の「Sweeeet!!!」は「今の不二家を見る! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報などバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



「Sweeeet!!!」



「WEEKLY Sweeeet!!!」

VOICE

「Sweeeet!!!」と「WEEKLY Sweeeet!!!」は、不二家グループ会社を含む各部署の情報が掲載されており、他部署との情報共有に欠かせないツールです。

従業員の写真やコメントも沢山掲載されており、電話でしか話したことのない人が掲載されていると今まで以上に親近感が湧きます。また、久しく会っていない人が登場しているのを見ると、皆それぞれの職場で活躍しているのだと感じ、自分も頑張ろうと励みになります。

今後も「Sweeeet!!!」と「WEEKLY Sweeeet!!!」の発行を楽しみにしています。

洋菓子事業本部 店舗運営部 関西エリア 大西 亜希子



不二家ファミリー文化研究所

●不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家が、「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井が兼務しています。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとっていうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして創業以来、「ファミリーの不二家」という企業理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動については、ホームページ「ペコちゃんの森」や、不二家ファミリー文化研究所が発行する小冊子にてご報告しています。季刊発行している小冊子は、全国の不二家洋菓子店舗、営業所、関連する工場や本社などに配布し、不二家ファミリー文化研究所の活動やホームページのご紹介、そのほか公募の告知などを行っています。

【ホームページ「ペコちゃんの森」をリニューアル】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ホームページ「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げ、2009年4月にはより見やすいサイトへとリニューアルを行いました。

ホームページ「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



ホームページコンテンツ

●親子イベントなどの公募

“食育”“家族の絆”などをテーマにしたイベントや、参加募集の告知などを行っています。

●「食」に関するコラムの掲載

毎日新聞社発行の「毎日小学生新聞【食の歳時記】」に掲載している食文化にまつわる話や、季節の歳時に関するコラムを、イラストを交えながらご紹介しています。

●日本の風土や文化についてのご紹介

日本各地の風土や文化、現地の人々との温かい交流のエピソードを、ご紹介しています。

●世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

●アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

また、過去に連載していたマンガで読めるアンケートレポートも掲載しています。

このほかにも、パソコンでご利用いただける「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告なども、随時ご紹介しています。



● イベント活動

不二家は、「食育」や「自然」をテーマにしたイベントの企画・実施や協賛などを行っています。親子のふれあいの場や、お客様と一緒に楽しく学ぶ場を、意欲的に設けています。

【めざせ!食育マイスター(夏)】

食育活動の一環として、2006年より、毎日小学生新聞様(毎日新聞社発行)主催の「めざせ!食育マイスター」に不二家ファミリー文化研究所が協賛し、お子様の春休みや夏休み期間にイベントを行っています。

小学生を対象とした媒体である毎日小学生新聞様と不二家ファミリー文化研究所が企画から運営までを共同で行うこのイベントは、地域に密着したオリジナリティある内容になっています。

2010年8月に神奈川県三浦市と横須賀市にて行った「めざせ!食育マイスター～親子で楽しむスイーツ・夏野菜収穫体験、よこすか海軍カレー作り」では、参加した28人の親子が夏野菜の収穫や料理を通じて、食への興味を深める“学び”を体験しました。



めざせ!食育マイスター～親子で楽しむスイーツ・夏野菜収穫体験、よこすか海軍カレー作り～
(2010年8月)

【元町ハロウィン】

「元町ハロウィン」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフが、いろいろな仮装でお子様にお菓子を配る、手作り感あふれる地域イベントです。

ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の一つでもあります。

不二家はそんな、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの主旨に共感し、2007年よりグッズやお菓子を提供するなど協賛をしています。

また不二家にとって、横浜元町は、1910年(明治43年)に、初めて洋菓子店を開いた「発祥の地」です。そんな、横浜元町のイベントに、2010年もペコちゃんとポコちゃんがオリジナルハロウィン衣裳で参加し、地域の方々との交流を深めました。



元町ハロウィン(2010年10月)



省資源、省エネルギー、CO₂削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供するように考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

【環境方針について】

不二家は2000年に制定した「環境基本理念」「環境基本方針」を基本に、従業員ひとりひとりが不二家が果たすべき責任と役割を認識し、持続的成長と循環型社会形成に寄与する「地球にやさしい企業」を目指して、積極的に地球環境、生態系への負荷減と、資源を有効に活用した環境活動に取り組み続けます。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健康と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

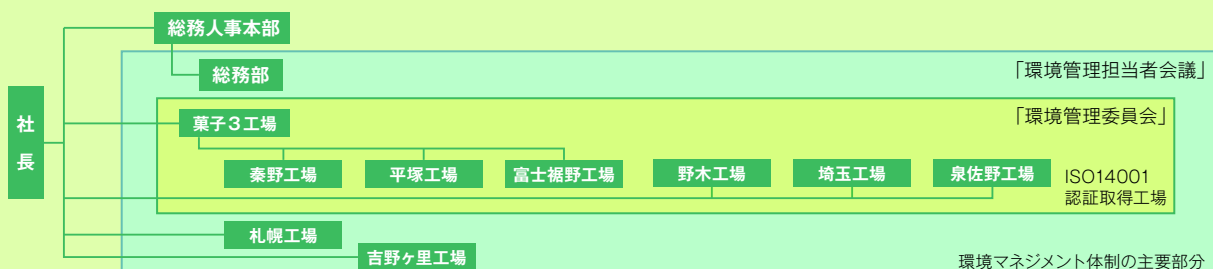
1. 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定などの遵守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
4. 地域における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント

【環境マネジメント体制】

環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、ISO14001認証取得工場では「環境管理委員会」を設置し、環境マネジメントシステムで設定した目的・目標達成のための取り組み状況とパフォーマンス達成状況や環境関連法規の遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報を共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的を開催し、環境マネジメントを推進しています。



● 環境教育

【内部環境監査員研修】

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員ひとりひとりの意識の向上と、適切な知識が欠かせません。

ISO14001 認証取得工場ではISO14001:2004規格の規定に基づき、各事業所の従業員によって内部環境監査を毎年行っています。また、昨年は内部環境監査員の資格を取得するための研修を2010年9月に実施し、5事業所の42名が受講しました。



内部環境監査員研修の様子

● 環境管理活動

菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)はISO14001の認証取得から10年間継続してマネジメントしてきたことに対し、認証機関である(株)日本環境認証機構より、10年継続賞を授与されました。

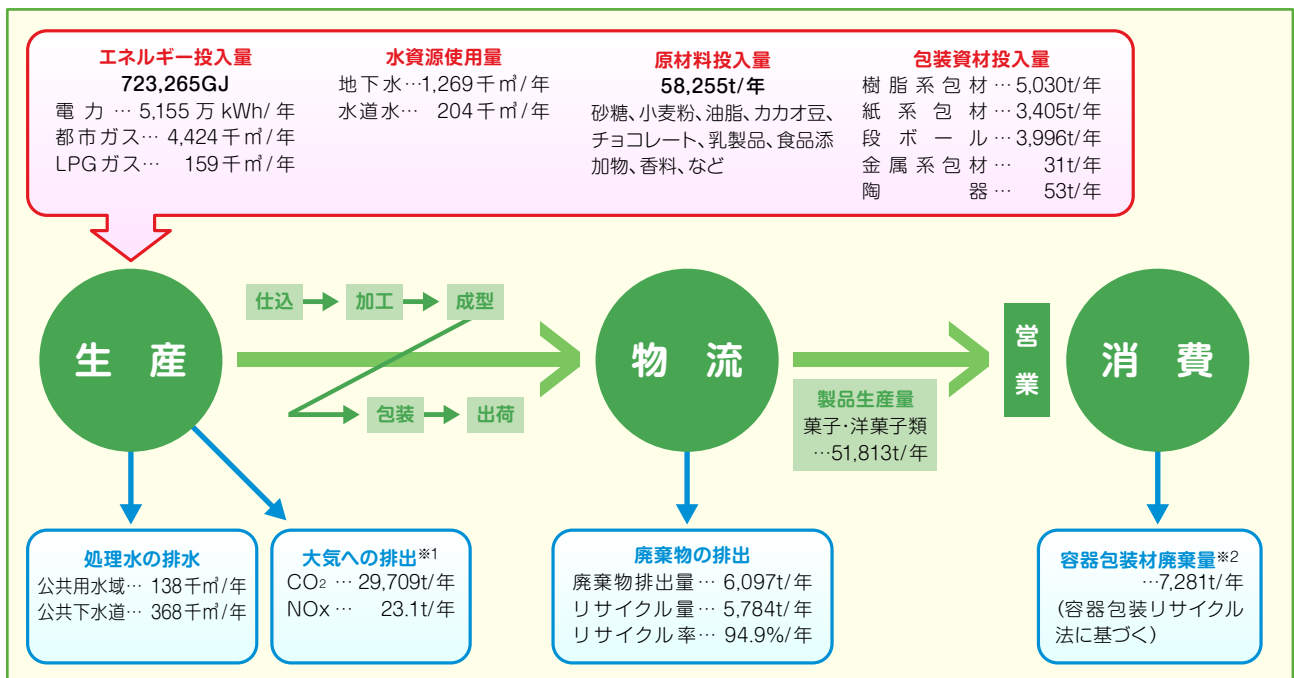
今後もPDCA(Plan・Do・Check・Action)による環境マネジメントシステムを継続的に活用し、積極的に環境管理活動に取り組み続けます。



表彰状とトロフィー

事業活動のマテリアルバランス

2010年度製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のマテリアルバランス(2010年4月～2011年3月)



※1:投入されたエネルギーについてCO₂を算出しています。

※2:容器包装材廃棄量は、不二家全体(食品を除く)の2009年度実績になります。

環境保全活動

● 地球温暖化防止への取り組み

【CO₂排出量削減対策】

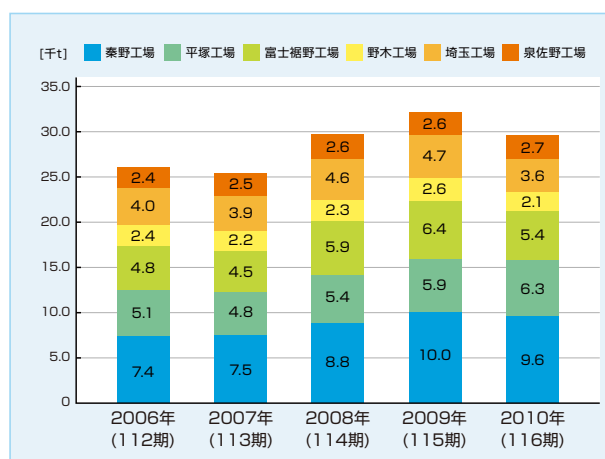
不二家では各事業所・工場において、CO₂の排出量削減対策として環境負荷の低いエネルギー源の使用を積極的に進めています。

秦野工場では、2010年度に、工場構内にある都市ガスを熱源とした空調設備用冷凍機を電気式のターボ冷凍機へ変更しました。これにより、年間294.2t(秦野工場のCO₂年間排出量の約3.5%に相当)のCO₂排出量の削減を実現しました。

また、2009年度と比較して、製造6工場における生産量は10.1%増加したにもかかわらず、各工場でさまざまな施策を実施したことによる効果で、CO₂排出量を7.6%削減することができました。



電気式ターボ冷凍機



工場におけるCO₂排出量推移

2009年度に、秦野工場において省エネルギー効果のあるLED照明を試験的に導入しました。それ以降、2010年度には平塚工場に設置されている「ペコちゃん看板」に、2011年度には埼玉工場の一部エリアにLED照明を導入しています。LED照明は、長寿命かつ低い消費電力ですが、従来の照明と同水準の明るさを確保できるという長所を持つ、省エネルギー照明です。



平塚工場のLED看板

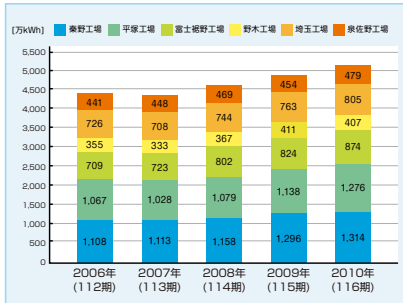


埼玉工場のLED照明

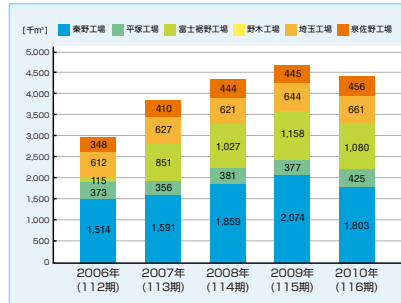
● 省資源・省エネルギーへの取り組み

【エネルギー源使用量の推移】

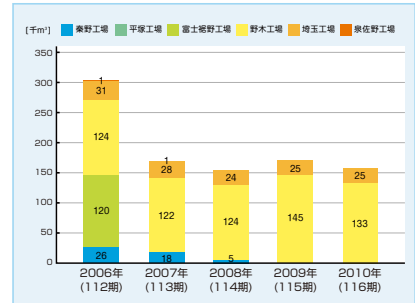
各事業所では順次、エネルギー効率の高い設備への更新を行ってきました。本年度も、設備の整理統合や新技術の導入検討など、エネルギー使用量の削減に積極的に取り組んでいます。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPGガス使用量推移

【環境に配慮した印刷物の作成】

不二家では、株主様を対象とした事業報告書「株主のみなさまへ」を年2回(3月・9月)発行しています。本年度より、この報告書を印刷する紙を、FSC (Forest Stewardship Council A.C.) の認証を受けたものへ変更しました。

同時に、報告書へ使用するインキとして、環境対応型の植物油インキを新たに採用しました。



FSC 森林認証制度

適切な管理がされた森に由来する木・紙製品がこの認証を受けることができます。森を育てる人、木・紙製品の製造者・販売者、そして製品を使用する人が一緒になって世界の森林を健全にすることで地球環境を守ろうという仕組みです。



FSC-JPN-0122
FSC Trademark © 1996 Forest Stewardship Council A.C.

植物油インキ

環境対応型インキとして知られる大豆油インキは、日本で7割以上のシェアを占めています。しかし、地球温暖化に伴う異常気象による穀物の凶作や、バイオ燃料の需要拡大により、大豆などの穀物価格は大きく変動しています。このような状況下で、食料である大豆を主な原料とした環境対応型インキの使用は望ましいこととはいえません。そこで、非食用の植物油の使用を拡大することを目的として誕生したのが植物油インキです。



総務人事本部 総務部 課長
今泉 健

紙とインキの品質はともに従来のもとの遜色なく、かつ環境保護へ貢献できる取り組みとして、FSC 森林認証を受けた紙製品と、植物油インキを本年度より採用いたしました。1社単位ではほんのわずかな効果しかありませんが、各社での導入が進み、ムーブメントとして広がることで、環境保護への効果が一段と高まることとなります。当社が、わずかながらでもその動きのお役に立てればと思います。

● リサイクルの取り組み

【食品廃棄物リサイクルの取り組み】

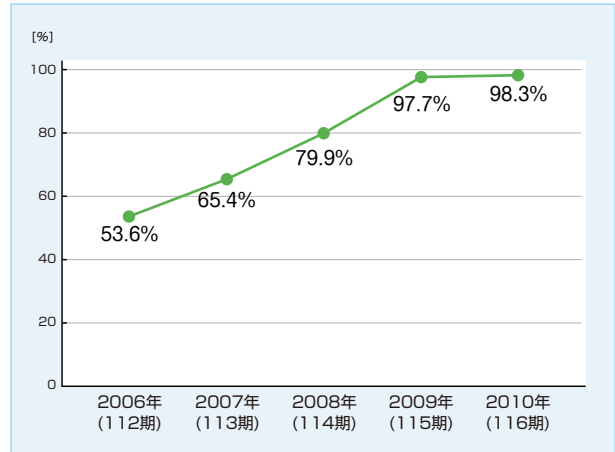
不二家の2010年度の食品リサイクル率は91.8%※1となりました。

これは各店舗や工場より排出される動植物性残さ※2などの食品廃棄物や、製品廃棄物も含めた全社でのリサイクル率であり、排出される食品廃棄物の製品特性に合わせた処理委託先を積極的に導入したことにより、前年度と比較して1.6ポイント向上しました。

工場では食品廃棄物の発生抑制に努めていますが、菓子の製造過程で発生、排出される食品廃棄物を完全になくすことはできません。発生してしまった食品廃棄物は、主に肥料や飼料などにリサイクルをしています。埼玉工場及び富士裾野工場では、今までの食品廃棄物処理委託先ではリサイクル処理困難であった食品廃棄物を、適切に処理する委託先を導入したことにより、全ての月で食品リサイクル率100%を達成することができました。その結果、製造6工場の食品リサイクル率は98.3%となり、前年度と比較して0.6ポイント向上しました。

※1 店舗を含む食品リサイクル法に基づく、定期報告のリサイクル率です。

※2 動植物性残さ：食品製造業など特定の業種の製造工程から排出される固形状廃棄物で、原料として使用した動植物に関わる不要物。大部分は肥料・飼料として利用され、一部が焼却、埋め立て処分されます。



工場の食品リサイクル率推移

【包装廃棄物削減とリサイクルの取り組み】

主に飲料商品を取り扱う食品事業部では、飲料容器に100%リサイクル可能なカートカンを採用した商品を販売しています。

カートカンは間伐材※3を含む国産の木材を30%以上使用した、主に紙でできた飲料容器です。使用後は、トイレトーパーへのリサイクルが可能です。国産の木材を利用することで、森林整備に必要な経費が確保され、「植える→育てる→収穫する」というサイクルがスムーズに循環し、健全な森林が育ちます。そのため、国産の木材を積極的に活用しているカートカンを使用することは、CO₂を吸収して育つ日本の森林の育成につながり、地球の温暖化防止へ貢献することになります。

さらに、カートカンの売上の一部は「緑の募金」に寄付され、国内の森林整備を行うボランティア団体などの資金として活用されています。

※3 木々の成長を促進するため、混みあった植林を間引く作業(間伐)によって発生した木材。



食品事業部 商品企画担当 兼 品質管理担当 課長
水野 康治

当社は、環境に配慮した飲料容器カートカンを使用した「ネクターこだわり白桃」「ネクターこだわり林檎」「ネクターこだわりラ・フランス」を販売しています。不二家ネクターは、果実を裏ごしした果実ピューレーを主原料とした、果実の美味しさをまるごとお楽しみいただけるロングセラー飲料ブランドです。近年、社会全体の環境意識が高まる中、2009年度よりカートカンを使用したネクターの開発に取り組み、商品化してきました。自然の恵みを大切にしたネクターをより大勢の皆様にご味わっていただくために、今後も自然環境に配慮した商品作りに取り組んでいきたいと思っております。



● 各事業所における環境保全活動

【社会貢献活動】

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、積極的に環境保全活動に参加し、企業としての社会的責任を果たしていきます。

【秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等表彰」を受賞】

2010年11月25日、秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として表彰されました。この賞は、地域社会に貢献し、地域との共生に努めている工場や研究所に贈られるものです。

秦野工場の地域社会への取り組み

- ・ 秦野地区産業廃棄物対策協議会の清掃活動への参加
- ・ 不法投棄撲滅活動への協力
- ・ 水無川の清掃活動への参加
- ・ 工場見学を受入
- ・ 地域住民との意見交換会の実施
- ・ 全国植樹祭の協賛商品開発
(カントリーマアム<秦野八重桜>)



神奈川県黒川副知事(右)と高橋秦野工場長

【富士裾野工場のアマゴの放流活動への参加】

富士裾野工場では2010年度も、狩野川水系水質保全協議会裾野長泉支部が主催する環境保全活動の一環である「アマゴの放流」に参加しました。地域の保育園児たちと交流を図りながら、狩野川の上流の一つである深良川で放流を行い、繁殖に努めました。放流されたアマゴの稚魚は元気に泳いでいきました。



放流を行った深良川



アマゴの稚魚放流の様子



放流されたアマゴの稚魚

VOICE

私たちは地域の保育園児とともに、静岡県裾野市を流れる深良川で行われた「アマゴの放流」に参加しました。楽しそうに魚を放流する園児たちの姿を見て、思わず私も笑顔で取り組んでいました。放流という「小さな活動」でも、川や自然を豊かにするきっかけになるということを知り、とても有意義な時間を過ごすことができました。



富士裾野工場 工務課 佐藤 太一

● トラスト活動

【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議 / 工場（議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏）」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻してきました。今後も定期的に不要な木を伐採して地面に日光を導き、植樹を行うなどをしながら、ブナやドングリをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生ずるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子を、ホームページ内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っていきます。

【従業員による森林整備活動の実施】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議様のご協力のもと、「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2010年は、7月に整備活動を実施し、社内の有志約26名とともに、「刈り払い作業（＝樹木の成長を妨げる雑草を切り払う作業）」を行いました。変化していく森の様子を肌で感じ、森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高めながら、これからも整備活動を続けていきます。



「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2010

<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

VOICE

森林整備活動(2010年実施) 参加者の感想

今回は、第1回目以来となる久々の参加でした。さまざまな部署の方や久しぶりに再会する人たちとのコミュニケーションはとても有意義でした。

日ごろの喧騒から離れ、自然と触れ合いマイナスイオンを浴びて、心身ともにリフレッシュされました。また、慣れない作業というところもありますが、心地よい疲労感と同時に、とてもいい汗を流しました。

改めて感じたことは、自然破壊や温暖化が騒がれている昨今、このような活動を通して自然の大切さを子供たちや孫たちにも伝えることも、企業の使命の1つであるということです。不二家には多くの人に愛されるペコちゃんとポコちゃんというキャラクターがいます。ペコポコを通して多くの人に自然の大切さを伝えていくことができればと思いました。

一番強く感じたことは、奉仕の精神というものの大切さです。お菓子を通して社会のために役に立つこと、多くの人々に幸せな気持ちになっていただくこと、信頼される企業になることは、人のために、自然のためにという奉仕の精神に通じるものであることをこの活動を通して感じました。



菓子事業本部 営業本部 首都圏営業部 新潟支店 支店長 富永 寿哉

不二家のあゆみ

不二家は、1910年(明治43年)、横浜元町に「不二家洋菓子店」を創業して以来、時代に先駆けた数々の新しい事業にチャレンジしてきました。それは、日本に洋菓子(お菓子)を中心とした新しい食文化、食シーンの提案をし続けた歴史でもあります。

これからも不二家は、企業の果たすべき社会的責任において、お菓子を中心とした本来の事業活動を通じて、「社会・環境との調和」を目指し、社会活動、環境問題への取り組みを積極的に進めていきます。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	フランス風ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルキー発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコ発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売 ホームパイ発売 埼玉工場(埼玉県新座市)・秦野工場(神奈川県秦野市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結
1973年	キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、 アイスクリームチェーンに着手
1976年	米国ペプシコ社と合併会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は解消)
1978年	株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年	米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコ発売



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1982年		仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店 フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6 10	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現ネスレ日本株式会社) 株式会社ダロワイヨジャパン設立
1990年	6 -	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成 アンパンマン商品発売
1992年	-	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6 11	「ペコちゃんのほっぺ」発売 九州工場(佐賀県神埼郡)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ホームページ開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2 5 9 11 12	「環境宣言」の制定 / ISO14001 認証取得の取り組み開始 容器包装リサイクル法に対処 ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却 埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換 富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3 4 8	カフェテリアプラン制度導入 富士裾野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4 10 11 12	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止 「不二家 行動規範と行動指針」の制定 野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3 4 4 6 7 7 8 9 10 11	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化 野木工場 ISO14001 認証取得 不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という) 大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止 コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定 環境報告書を初めて発行 ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始 「環境宣言」の改訂 埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始 ファミ文研 「水土里の体験展」協賛開始
2004年	2 2 6 10	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立 埼玉工場 電力高圧トランスをアモルフアスタイプへ更新 秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足 埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7 7 12	個人情報保護基本規程制定 ISO9001 認証取得の取り組み開始 秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
2006年	1 3 3 4 4 6	「品質方針」の制定 泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止 ファミ文研 「めざせ! 食育マイスター」イベント協賛開始 定年退職者再雇用制度開始 泉佐野工場 ISO14001:2004 構築・運用開始 ISO9001 認証取得 (菓子事業本部(営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場)、品質保証部、調達部)



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	8	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼動開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	10	ファミ文研 ホームページ上で「食の歳時記」連載開始
2007年	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB 食品安全システム導入
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	「品質方針」の改訂
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
5	ISO9001 認証一時保留/ISO9001 認証一時停止	
6	「環境宣言」の改訂	
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
8	コンプライアンス推進規程改訂	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
11	ベーカリーカフェの新業態、「맘즈カフェ」開店(船橋)	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典実施
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO ₂ 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	9	三井アウトレットパーク仙台港に「Peko Store」「FUJIYA PARLOR」開店
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場)実施
11	ケーキ in チョコ「スイーツトルテ」発売	
11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)	
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典実施
	2	埼玉工場「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	2	B-R サーティワンアイスクリーム株式会社とのコラボレーション商品「ルック(31 アラモード)」発売
	2	不二家洋菓子店で「生ミルク」発売
	3	野木工場「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	3	地域限定カントリーマアム「カントリーマアム(北海道ミルク)・(九州紫芋)」2品発売
5	不二家洋菓子店でキッコーマン株式会社とのコラボレーション商品「しょうゆスイーツ」2品発売	
5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成	
6	「大玉ミルク」発売	



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事	
2009年	6	平塚工場操業50周年記念式典実施	
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ	
	8	カントリーマアムブランドに新コンセプトの「カントリーマアムクリスピー」登場	
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24～9/6)	
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける	
	10	不二家洋菓子店で「ミルクークリームロール」を発売	
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典実施	
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成	
	2	「第61回全国植樹祭2010かながわ」に協賛し「カントリーマアム(秦野八重桜)」を発売(神奈川県限定)	
	2	富士裾野工場が「食品産業CO ₂ 削減大賞」(主催:(株)日本総合研究所 後援:農林水産省)優良賞を受賞	
	3	大丸松坂屋×不二家100周年コラボレーション企画「ペコちゃんギャラリー」開催	
	4	洋菓子店新業態「ミルクーカーニバル大丸京都店」開店	
	4	「本物の5S活動発表大会」開催	
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付	
	5	宮崎県口蹄疫被害支援物資として、みやぎJA経済連にカントリーマアム、ミルクィー、ホームパイを寄贈	
	5	不二家が協賛した「第61回全国植樹祭2010かながわ」が秦野市などで開催	
			創業100周年記念事業
	8	「ハートフルコンサート2010」に協賛(東京フィルハーモニー交響楽団主催) 「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)	
	8	「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式	
	8	「ペコちゃんに“モードな服”をプレゼント」コンテスト (モード学園×新宿高島屋×不二家合同企画)	
	9~10	「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)	
	11	「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場	
11	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)		
11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰		
2011年	2	不二家洋菓子店で「本格生チョコケーキ」を発売	
	3	事業報告書「株主のみなさまへ」にFSC認証紙及び植物油インキを採用	
	4	新業態2号店「ミルクーカーニバル大丸梅田店」開店	
	4	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(福島県いわき市)	
	5	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(岩手県、宮城県)	
	6	不二家洋菓子店で「ネクターロール」発売	





株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
ホームページ <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 CSR推進部
Eメールの場合：不二家ホームページ内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。